

かないわ

と



おおの

ぶらり
まちあるき

大野エリア

醤油蔵が立ち並ぶ
むらさき香る
アートな港町

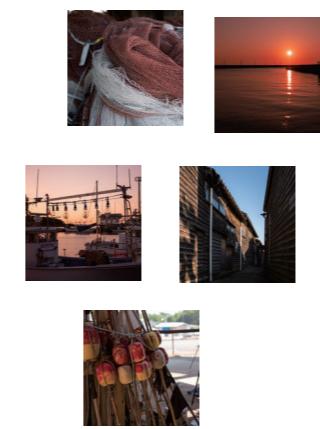
海運業や漁業で栄えた港町・大野は、江戸時代初めに紀州から醤油造りが伝わり、今も金沢の美食を支えています。醤油蔵や町家が連なる情緒あるまちなみが残り、おの大橋からは、大野川や大野灯台、松林、靈峰白山などを見晴らすことができます。最近では、ギャラリーやカフェに生まれ変わった町家や蔵が大野の新たな魅力として人気を集めています。

金石エリア

海運力に支えられた
まちなみが残る
風情ある港町

中世より海上交通の要所として栄えた金石は、江戸時代には北前船の寄港地となり、城下町金沢の海の玄関口として、外交上重要な役割を担っていました。今でも、当時の廻船問屋や町家、神社、寺院などが多く残り、少し路地を歩けば、まるでタイムスリップしたかのような気分にさせてくれます。最近では、金沢名産の伝統味噌にこだわった味噌食堂や魚介類の糠漬けなどの珍味が注目を集め、多くの人が訪れています。

かないわ・おおの Column 北前船の町



北前船の交易拠点であった金石・大野は、加賀百万石の財政を支えた豪商・銭屋五兵衛を生んだ港町であり、歴史的なまちなみや港に通じる小路が残るなど、随所に港の風情を感じることができます。令和元年には、金石・大野のまちなみや歴史的な建造物が、日本遺産の構成文化財に指定されました。

かないわ・おおの Column 発酵食の町



金石・大野は、江戸時代から醤油や味噌の製造が盛んな地であり、多くの発酵食品に出会える町です。現在でも多くの醤油醸造元が集まる大野は「醤油の五大生産地」といわれ、ほどよい甘さのうまくち醤油を求めて県内外から多くの人が訪れています。

Kanaiwa, Ono
Osanpo Map



Kanaiwa

観田家住宅。藩政時代の廻船問屋で、板張りの外壁が歴史を感じられ、国登録有形文化財となっています。



Ono



おおの大橋から望む大野のまちなみ。北前船の寄港地としての面影が、漁船が連なる景色から感じられます。

